

事業シート(事業概要書)

1 事業名		道路整備事業		2 事業開始年度						
3 担当部・課・担当名		都市建設部 道路課 道路整備担当 富田 清彦		4 事業責任者		常盤 哲弘				
5 根拠法令等		道路法第1条・第16条第1項		(<input type="checkbox"/> 義務づけ <input type="checkbox"/> その他)						
6 総合計画	章	快適でにぎわいのあるまちづくり		7 実施方法	■ 直接実施					
	節	連携を考えた交通環境の整備を進めます			■ 業務委託又は指定管理					
	項	交通体系の整備			(委託先:補足資料参照)					
	小項目	道路網の整備			<input type="checkbox"/> 補助金(補助先:					
	細項目	人にやさしい安全な道路整備			<input type="checkbox"/> その他(
8 事業概要	① 目的 (何のために)	幹線道路、地域生活道路及び歩道(路側線・路側帯含む)の整備により、町民生活の利便性及び交通安全を確保する。								
	② 対象 (誰・何を対象に)	安全で快適な生活を望む住民及び道路を利用する人								
	③ 事業内容 (手段・手法など)	(1)総合計画実施計画で定めている幹線町道及び歩道の整備 (2)自治会・住民要望による舗装・歩道(路側線・路側帯含む)設置 《整備までの流れ》 ① 現地調査 ② 測量・用地買収・物件補償の事前調査 ③ 協議・審査 ④ 整備計画 ⑤ 予算要求 ⑥ 工事設計・工事実施								
	④事業の必要性	町道の整備は住民生活に密接に関係するものであり、町民等の安全性・利便性・円滑な交通の確保のためには、計画的、効率的な道路整備が必要である。町道の整備は、町が行うものと道路法第1条・第16条第1項に定められている。								
9 コスト	平成23年度			10 人件費	職員構成		概算人件費		投入人員	
	① 事業費	150,626	千円		担当課職員 (再任用職員含む)	12,706	千円	2.00	人	
	② 人件費	12,706	千円		臨時職員	0	千円		人	
	③ 総額	163,332	千円							
11 事業費 (財源内訳)	年度	事業費計 (千円)		財源内訳(千円)						
		国・県支出金	町債	その他	一般財源					
	H20年度(決算)	40,646					40,646			
	H21年度(決算)	34,476					34,476			
	H22年度(決算見込み)	56,058		24,700	19,200		12,158			
H23年度(予算)	150,626		53,000	46,700	23,487	27,439				
12 平成23年度 事業費内訳	① 委託料		5,225千円							
	② 使用料及び賃借料		1,431千円							
	③ 工事請負費		70,000千円							
	④ 負担金補助及び交付金		73,847千円							
	⑤ その他		123千円							
	計		150,626千円							

事業シート(事業概要書)

		活動指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)												
13 事業実績		道路整備延長	m	180	271	44												
		歩道整備延長	m	139	180	33												
14 単位当りコスト		事業費/道路整備延長	千円	47	71	114												
		事業費/歩道整備延長	千円	231	84	1,545												
15 成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)		<p>22年度は緊急財政のため、事業規模を縮小し、緊急性の高い道路や歩道の整備を行った。道路整備延長が44m、歩道整備延長が33mで、前年に比べ延長距離が少ないが、これは、旭橋の歩道の整備を優先したことによる。延長距離1mあたりの工事費としては前年を大きく上回っている。</p> <p>本整備前の旭橋は、通学路であるが無歩道道路であり、危険な状態であった。</p> <p>この歩道整備により、安全性を確保することができた。</p> <p>今後は、町財政状況を勘案しながらではあるが、安全な生活道路を確保するため、道路や歩道の整備延長に努める。</p>																
		成果指標名	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)												
16 成果実績		道路整備済延長	km	156,838	157,109	157,153												
		歩道整備済延長	km	28,004	28,184	28,217												
17 事業の自己評価	① 課題等	緊急度の高い路線の歩道整備や道路整備・改良を推進するためには、事業費の確保が必要である。																
	② 今後の方向性	<p>当該年度に実施した箇所は改善された。また用地取得や整備工事については、効果的・効率的に事業を推進している。</p> <p>車両通行帯と歩行者通行帯の完全分離が理想であるが、事業費の確保が厳しいため、路側帯を緑のラインで塗り分けするなどにより歩行者通行帯の確保を図る。道路整備については、要望等がある未舗装道路の舗装化を実施する。</p>																
18 比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>人口一人当たりの事業費(H21)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>寒川町</td> <td>725円/人</td> </tr> <tr> <td>平塚市</td> <td>1,354円/人</td> </tr> <tr> <td>秦野市</td> <td>729円/人</td> </tr> <tr> <td>茅ヶ崎市</td> <td>1,964円/人</td> </tr> <tr> <td>藤沢市</td> <td>138円/人</td> </tr> <tr> <td>綾瀬市</td> <td>1,933円/人</td> </tr> </tbody> </table>					寒川町	725円/人	平塚市	1,354円/人	秦野市	729円/人	茅ヶ崎市	1,964円/人	藤沢市	138円/人	綾瀬市	1,933円/人
寒川町	725円/人																	
平塚市	1,354円/人																	
秦野市	729円/人																	
茅ヶ崎市	1,964円/人																	
藤沢市	138円/人																	
綾瀬市	1,933円/人																	
19 特記事項 (事業の沿革等)		<p>町道は、約189km、約700路線を管理しており、現在の道路交通事情を鑑みると、住民生活に密接に関係する幹線道路等の老朽化が著しく、道路整備事業よりも、より住民に身近な町道の維持管理を優先させている。</p> <p>なお、22、23年度は緊急財政対策により、事業規模を縮小して事業を実施することとなったが、旭橋歩道の整備を優先する事業とし、22年度に整備を行った。</p>																

道路整備事業 追加資料

(1) 23年度に新たに取り組む事業

委託・工事内容	23年度予算額(千円)	詳細
新堀幹線工事	24,000	寺尾橋架替事業に伴い、新堀幹線の切り回し工事
新堀幹線設計委託他2件	2,701	新堀幹線工事の積算委託等
橋りょう架替事業負担金	73,776	寺尾橋架替事業に対する負担金。22年度実施予定であったが、緊急財政により、23年度に繰り越し実施。

(2) 道路関連事業

事業名		23年度予算額(千円)
道路橋りょう総務費		
道水路境界確認事業費		5,043
道路台帳整備事業費		4,000
狭あい道路解消事業費		10,616
道路橋りょう管理事務経費		747
道路維持費		
道路維持補修事業費		33,000
安全対策急施事業費		1,000
道路維持管理経費		27,307
道路新設改良費		
道路橋りょう整備事業経費		189
寒川駅北口エレベーター・エスカレーター設置事業費		165,600

(3) 平成22年度道路整備事業実績

委託・工事内容		額(千円)	契約方法	契約先
委託料	測量分筆等業務委託	1,042,455	随意契約	(社)神奈川県公共嘱託登記土地家屋調査士協会
	所有権移転等業務委託	92,241	随意契約	(社)神奈川県公共嘱託登記司法書士協会
	橋梁点検委託	472,500	一般競争入札	(株)高島テクノロジーセンター横浜営業所
使用料及び賃借料	寺尾橋架替事業に伴う道路用地借上料	626,816		3名
	市町村積算システム使用料	420,000	随意契約	(財)神奈川県都市整備技術センター
	積算用レーザープリンター賃借	95,256	随意契約	NECキャピタルソリューション(株)神奈川支店
工事請負費	倉見11号線改良工事	4,410,000	一般競争入札	(有)青木造園建設
	小谷宮山29号線歩道設置工事	47,250,000	一般競争入札	(株)菊地土建
負担金補助及び交付金	相模川左岸土地改良区決済金	45,000		神奈川県相模川左岸土地改良区